



みちのく  
GOLD  
浪漫

黄金の国ジパング、  
産金はじまりの地をたどる

# 石巻、江戸時代の旅と道

日本遺産認定5周年記念  
「みちのくGOLD浪漫」シンポジウム2024

石巻市博物館蔵「中奥御郡海陸全図」

日時

2024 2/17 [土]  
13:00-16:45(開場 12:00)

会場

マルホンまきあーとテラス 小ホール(定員 300 人、参加無料)  
(住所:宮城県石巻市開成 1-8 問合せ:石巻市博物館 0225-98-4831)

第1部

報告①「構成文化財 金華山道・金華山詣について」

泉田邦彦氏 (石巻市博物館 学芸員)

報告②「江戸時代の旅と金華山参詣」

高橋陽一氏 (宮城学院女子大学学芸学部 准教授)

報告③「片倉小十郎家のご隠居、北上川河口を旅する」

佐藤大介氏 (東北大学災害科学国際研究所 准教授)

第2部

報告④「日本遺産認定と地域での活用」

須賀正美氏 (東北歴史博物館 副主任研究員)

第3部

パネルディスカッション「みちのく GOLD 浪漫のこれから～旅と道から考える～」

パネラー

高橋陽一氏×佐藤大介氏×須賀正美氏×泉田邦彦氏

コーディネーター 福山宗志氏 (みちのく GOLD 浪漫推進協議会事務局)

主催

日本遺産「みちのく GOLD 浪漫」推進協議会、石巻市、石巻市教育委員会

共催

歴史文化資料保全ネットワーク事業・東北大学拠点

後援

宮城学院女子大学学芸学部人間文化学科





## 日本遺産「みちのく GOLD 浪漫と石巻市

日本遺産 (Japan Heritage) とは、文化財や伝統文化を通じた地域の活性化を図るため、その歴史的経緯や、地域の風土に根ざしたストーリーの下に有形・無形の文化財をパッケージ化し、様々な文化財を総合的に活用する取り組みのことで、全国で104件が日本遺産に認定されています。

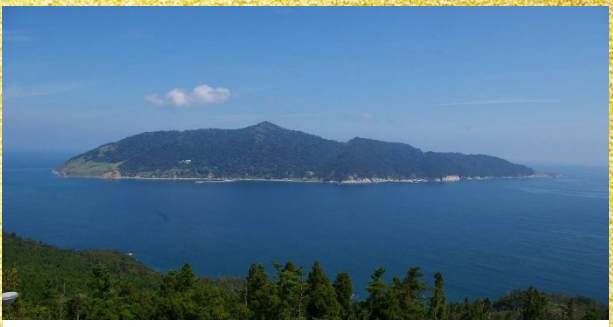
2019年5月、宮城県涌谷町・気仙沼市・南三陸町、岩手県平泉町・陸前高田市が構成する「みちのく GOLD 浪漫～黄金の国ジパング、産金はじまりの地をたどる～」は、「みちのく」の産金を中心とした、文化や信仰、産業を示す構成文化財をめぐるストーリーを打ち出し、日本遺産に認定されました。2022年7月、日本遺産「みちのく GOLD 浪漫」に石巻市の「金華山道」と「金華山詣」が追加認定され、現在は3市3町が連携し、日本遺産による地域の活性化に取り組んでいます。

### 構成文化財① 金華山道



石巻から金華山に向かう参詣道は「金華山道」と呼ばれました。明治初期まで女人禁制が敷かれ、女性たちは金華山には登拝せず、山鳥に立てられた「一の鳥居」から遙拝しました。金華山道の終点である「山鳥の渡し」周辺には、かつての船着場や古道が残り、当時の景観を今に伝えています。

### 構成文化財② 金華山詣



出羽三山、恐山とともに東北の三大霊場に数えられる金華山。「みちのくの金」が日本の金を代表するブランドとなっていくなかで、近世以降の金華山は、黄金伝説と結びつき信仰の聖地となり、「金華山詣」として大きく発展しました。現在も「黄金の神が坐す祈りの島」として信仰が息づいています。

## シンポジウム2024の趣旨

2023年度は、石巻市の追加認定を踏まえ、涌谷町と石巻市を事業推進の重点地域に設定し、様々な面から日本遺産を通じた発信に取り組んできました。石巻市教育委員会では、生涯学習課・博物館・図書館が連携しながら、既存の構成文化財に対する理解を深めるとともに、産金に関する「生活の中に隠れた」新たな構成文化財の掘り起こしを進めています。構成文化財を活用していくためには、それに対する正しい理解を多くの市民・事業者と共有していくことが欠かせません。

今回のシンポジウムは、歴史学研究者を講師に迎え、「旅と道」をテーマにした歴史シンポジウムを開催することで、新たに追加認定された「金華山道」「金華山詣」に対する理解を深めていく機会にしたいと考えています。

## 石巻市博物館の展示のご案内

会場となるマルホンまきあーとテラスは、2021年4月に開館した複合文化施設で、館内には2021年11月に開館した石巻市博物館があります。博物館では、企画展「高砂淳二写真展 地球と出会う旅」、毛利コレクション特集展「仙台藩の武士の世界」、布施辰治特集展「布施辰治と関東大震災」を開催中です。併せてご覧いただくと幸いです。



〒986-0032 宮城県石巻市開成 1-8  
 車：三陸自動車道 石巻女川 IC より約 5分  
<https://makiart.jp/museum/>